

事業コード	R3-建-継-02		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方街路交付金事業		部局課室名	建設部 都市計画課
事業種別	現道拡幅		班 名	都市整備班 (tel) 018-860-2443
路線名等	都市計画道路 八幡根岸線		担当課長名	都市計画課長 伊勢 弘
箇所名	横手市根岸町		担当者名	副主幹(兼) 班長 天野 啓秀
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	安全で安心な生活環境の確保
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	05	施策目標(指標)名	コンパクトで魅力のあるまちづくりの推進

1. 事業の概要

事業期間	H29 ～ R5 (7年)		総事業費	14.5 億円	国庫補助率	64.9																																																						
事業規模	○延長L=309m 幅員W=9.0(18.0)m																																																											
事業の立案 に至る背景	(都) 八幡根岸線(県道名：(一)御所野安田線)は横手市中心市街地を東西に連絡する重要な幹線街路である。しかし、今回の事業計画区間は接続する前後区間が整備済みなのに対し、未整備のボトルネック狭隘区間(1車線)となっており、自動車のすれ違いも困難な状況である。また、特に冬期は堆雪によりさらにその状況を悪化させている。周辺には医療施設(市立横手病院、横手興生病院)、教育施設(横手城南高校、横手南小学校、横手幼稚園)、公共施設(横手法務合同庁舎、横手市中央公民館/女性センター)、観光関連施設(横手公園、かまくら会場)などがあり、歩行者・自転車交通も多いが、歩道が未整備のため歩車道分離による安全確保が早急に求められている区間である。現道拡幅による2車線化と歩道整備を行うことにより各種周辺施設へのアクセス向上を図るとともに、併せて安全な歩行空間の確保を図るものである。																																																											
事業目的	○重要な市街地環状道路におけるボトルネック区間解消による交通円滑化を図る ○市立横手病院(二次救急医療施設)、横手城南高校等の公共公益施設、観光関連施設へのアクセス向上を図る ○歩道の設置・バリアフリー化により歩行者の安全・安心な通行を確保するとともに、狭隘道路の拡幅による都市防災性の向上及びコンパクトで魅力あるまちづくりの推進を図る																																																											
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table><tr><td colspan="2"></td><td>前回評価</td><td>今回評価</td><td>増減</td><td>理由等</td></tr><tr><td rowspan="2">事業費</td><td>経費</td><td>1,450,000</td><td>1,450,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td>工事費</td><td>246,000</td><td>246,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">内訳</td><td>用補費</td><td>1,079,000</td><td>1,079,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>125,000</td><td>125,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">財源内訳</td><td>国庫補助</td><td>1,015,000</td><td>941,050</td><td>▲ 73,950</td><td>国費率の変更</td></tr><tr><td>県債</td><td>313,100</td><td>379,700</td><td>66,600</td><td>国費率の変更</td></tr><tr><td>その他</td><td>87,000</td><td>87,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td>一般財源</td><td>34,900</td><td>42,250</td><td>7,350</td><td>国費率の変更</td></tr><tr><td>事業内容</td><td colspan="2">道路改築 L=315m</td><td>道路改築 L=309m</td><td></td><td>詳細設計に伴う施工延長の減</td></tr></table>							前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費	経費	1,450,000	1,450,000			工事費	246,000	246,000			内訳	用補費	1,079,000	1,079,000			その他	125,000	125,000			財源内訳	国庫補助	1,015,000	941,050	▲ 73,950	国費率の変更	県債	313,100	379,700	66,600	国費率の変更	その他	87,000	87,000			一般財源	34,900	42,250	7,350	国費率の変更	事業内容	道路改築 L=315m		道路改築 L=309m		詳細設計に伴う施工延長の減
		前回評価	今回評価	増減	理由等																																																							
事業費	経費	1,450,000	1,450,000																																																									
	工事費	246,000	246,000																																																									
内訳	用補費	1,079,000	1,079,000																																																									
	その他	125,000	125,000																																																									
財源内訳	国庫補助	1,015,000	941,050	▲ 73,950	国費率の変更																																																							
	県債	313,100	379,700	66,600	国費率の変更																																																							
	その他	87,000	87,000																																																									
	一般財源	34,900	42,250	7,350	国費率の変更																																																							
事業内容	道路改築 L=315m		道路改築 L=309m		詳細設計に伴う施工延長の減																																																							
事業の進捗 状況	○事業認可の資金計画と比較すると令和2年度末で事業費進捗率は、計画以上に進捗している。 (用地買収進捗率は44.3%)																																																											
事業推進上 の課題	○特になし																																																											
関連する計 画等	○横手都市計画区域マスタープラン																																																											
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○特に情勢の変化は無く、隘路区間を早急に解消する必要がある。																																																											
事業効果把 握の手法及 び効果	<table><tr><td>指標名</td><td colspan="4">都市計画道路整備率</td></tr><tr><td>指標式</td><td colspan="4">整備済み延長／都市計画決定延長</td></tr><tr><td>指標の種類</td><td colspan="2">○ 成果指標</td><td colspan="2">● 業績指標</td></tr><tr><td>目標値 a</td><td colspan="2"></td><td>66.4%</td><td rowspan="2">低減指標の有無 データ等の出典</td></tr><tr><td>実績値 b</td><td colspan="2"></td><td>66.4%</td></tr><tr><td>達成率 b／a</td><td colspan="2"></td><td>100%</td><td>把握の時期</td></tr></table>					指標名	都市計画道路整備率				指標式	整備済み延長／都市計画決定延長				指標の種類	○ 成果指標		● 業績指標		目標値 a			66.4%	低減指標の有無 データ等の出典	実績値 b			66.4%	達成率 b／a			100%	把握の時期	○ 有 ● 無 秋田県の都市計画 令和3年 7月																									
指標名	都市計画道路整備率																																																											
指標式	整備済み延長／都市計画決定延長																																																											
指標の種類	○ 成果指標		● 業績指標																																																									
目標値 a			66.4%	低減指標の有無 データ等の出典																																																								
実績値 b			66.4%																																																									
達成率 b／a			100%	把握の時期																																																								

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし。
	②指摘事項への対応
	特になし。

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	横手市の中心市街地を東西に連絡する重要な幹線街路であるが、前後が整備済みなのに 対し未整備のボトルネック狭隘区間（1車線）となっており、自動車のすれ違いが困難な 状況となっている。 周辺には高校、小学校、幼稚園があるが歩道未整備であり、通学時間帯は危険な状況で ある。	25点
緊 急 性	災害時における周辺の指定緊急避難所(横手城南高校、横手公園、横手中央公民館/女性 センター)への避難路としての役割を担うとともに、二次救急医療施設である市立横手病 院をはじめ横手法務合同庁舎などの公共公益施設へのアクセス向上を図る必要がある。 西側隣接区間（(都)中央線「幸町工区」）がH28.3に完成供用したことにより当該区間が 前後区間で唯一のボトルネック狭隘箇所となり、緊急な整備が求められている。	10点
有 効 性	歩道整備・バリアフリー化の推進により、周辺の公共公益施設（病院・学校・公共施設 等）や観光関連施設（横手公園、かまくら会場）へのアクセスが改善される。 道路拡幅による都市防災性の向上により安全・安心な生活環境を確保し、コンパクトで 魅力あるまちづくりを行い、合わせて沿線市街地における活性化に貢献する。	23点
効 率 性	事業の費用便益比（B／C）は1．46であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値C 13．61億円 ・総便益の現在価値B 19．88億円 現場発生材の再資源化やリサイクル製品を使用し、コスト縮減とリサイクルの推進に努 めている。	18点
熟 度	事業は計画通り進捗している。 横手市及び地元住民組織からの道路整備に対する要望書が出されており、協力が得られる 体制となっている。 八幡根岸線地権者会が組織され、地元内の意見確認や集約を行っており、熟度は高い。	10点
判 定	ランク（ ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ）	86点
	必要性、緊急性、有効性が高く事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (R3-建-継-02)
箇所名 ((都)八幡根岸線 横手市根岸町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	都市計画道路の規模及び機能				
	道路の規模及び分類	幹線街路	4	4	都市幹線街路 3・4・107川尻広面線
		補助幹線街路	2		
		上記以外の補助幹線街路など	0		
	都市構造上の機能	放射環状道路	4	4	縦環状道路
		都心軸を補完する道路	2		
		その他の道路	0		
	現況道路における問題箇所				
	交通容量不足 (現道混雑度1.0以上)	該当	1	0	御所野安田線(0.80)
		非該当	0		
	主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和 に効果のある道路	該当	2	0	
		非該当	0		
	狭隘道路 (1車線道路・一方通行道路)	該当	2	2	1車線道路
		非該当	0		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令又は県の基準に達しない道路)	該当	2	2	構造令不適合 (最小曲線半径30m)
		非該当	0		
	バス路線	該当	2	0	
		非該当	0		
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む)	該当	4	4	歩道、自歩道無し
		非該当	0		
	通学路指定	該当	2	2	学校指定(南小学校)
		非該当	0		
	人身事故発生地点	該当	2	2	人身事故1件(H23～R2) (軽傷者1名)
		非該当	0		
	交通状況の変化				
	この事業の目的が失われるような交通 状況の変化はない(交通量、渋滞長等)	該当	5	5	交通状況変化なし
		非該当	0		
	計		30	25	
緊急性	防災機能向上への貢献度				
	・緊急輸送道路	該当項目 2 以上	7	7	避難路(横手城南高校、 中央公民館、横手公園) 延焼防止(拡幅後W=18m)
	・避難路	該当項目 1	5		
	・老朽橋梁又は耐震性の劣る橋梁の架替・補強	該当項目 0	0		
	・延焼防止(現況幅員W<12m→拡幅後W≥12m)				
	・無電柱化計画				
	関連事業の有無				
	公共公益施設等アクセス (市町村役場・医療機関・学校・公民館など)	該当	3	3	横手病院、横手城南高校、 南小学校、中央公民館
		非該当	0		
	計		10	10	
有効性	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度				
	・DID区域内	該当項目 2 以上	10	10	DID区域内 景観、まちづくり
	・市街地再開発・区画整理等との連携	該当項目 1	5		
	・景観、中心市街地の活性化やまちづくりに資する				
	・商業地域内				
	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度				
	・高速ICアクセス	該当項目 2 以上	5	3	主要な観光地(横手城趾、 かまくら会場)
	・港湾・空港アクセス	該当項目 1	3		
	・新幹線駅又は特急停車駅へのアクセス	該当項目 0	0		
	・主要な観光地へのアクセス				
	・駅前広場の造成				
	・広域道路整備計画				
	安全で快適な生活環境への貢献度				
	・バリアフリー	該当項目 2 以上	5	5	歩道バリアフリー化 二次医療施設(横手病院) 流雪溝の整備 堆雪幅(W=1.0m)
	・二次・三次医療施設へのアクセス	該当項目 1	3		
	・消融雪施設又は流雪溝の整備	該当項目 0	0		
	・耐雪幅の確保				
	・道路緑化の推進				
	社会情勢の変化				
	社会情勢の変化による事業の 有効性	有効性が高い	5	5	特に情勢の変化は無く、狭 隘区間を早急に解消する必 要がある。
		低下傾向	3		
		有効性が低い	0		
	計		25	23	

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (R3-建-継-02)
箇所名 ((都)八幡根岸線 横手市根岸町)

1. 評価内訳

観 点	評価項目 細別	評価基準	配 点	評価点	摘 要
効率性	費用便益比(B/C)				
	費用便益比(B/C)	1. 0以上	5	5	B/C=1.46
		1. 0未満	0		
	計画交通量				
	計画交通量	10,000台/日以上	5	3	4,600台(R12推計)220D
		4,000台/日以上10,000台/日未満	3		
		1,000台/日以上4,000台/日未満	2		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減・リサイクル推進貢献度				
	<ul style="list-style-type: none"> コスト縮減に積極的に取り組んでいる 廃棄物の発生抑制、再資源化及び適正処理 リサイクル製品、再生骨材等の使用 新工法・新技術の採用 	該当項目 2 以上	5	5	コスト縮減(舗装、側溝) 現場発生材の再資源化 リサイクル製品、再生骨材・合材の使用
		該当項目 1	3		
		該当項目 0	0		
	事業中止又は休止による影響				
	事業を中止・休止した場合の成果に対する影響	代替手段がなく、影響が大きい	5	5	狭隘区間の解消、通学路の危険除去が困難となるため、影響が大きい。
		代替手段はあるが、影響が大きい	3		
		代替手段があり、影響が小さい	0		
	計		20	18	
熟 度	事業の進捗状況				
	事業進捗率 (事業費ベース)	計画通り又は計画より進捗している	5	5	142.0%
		概ね進捗(80～100%未満)	4		
		計画より遅れている(50～80%未満)	2		
		計画よりかなり遅れている(50%未満)	0		
	用地買収進捗率 (用地面積ベース)	計画通り又は計画より進捗している	5	0	44.3%
		概ね進捗(80～100%未満)	4		
		計画より遅れている(50～80%未満)	2		
		計画よりかなり遅れている(50%未満)	0		
	地域の協力体制				
	<ul style="list-style-type: none"> 事業推進のための各種協議会等が設置されている 地域住民の取り組みが積極的である 市町村自ら積極的に用地交渉など事業の推進に関与している 地元要望がある 	該当項目 2 以上	5	5	地権者会を組織 地元要望活動あり
		該当項目 1	3		
		該当項目 0	0		
	計		15	10	
合 計			100	86	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		